発行　平成26年１月１日

浄化槽あいち

2014－1
NO.92

愛知県の花　かきつばた

一般社団法人 愛知県浄化槽協会

NO.92 目 次

【 表紙の題字は、桑原幹根元愛知県知事の書 】

1．新春のご挨拶

3	一般社団法人 愛知県浄化槽協会	会長	加藤 鋭吉
4	愛知県知事		大村 秀章
5	名古屋市長		河村 たかし
6	豊田市長		太田 稔彦
7	愛知県建設部　建築担当局長		松井 宏夫
8	愛知県環境部長		杉浦 健二
9	愛知県衛生事業協同組合	理事長	永田 喜裕
10	愛知県浄化槽保全協会	理事長	栗田 道秋

2．ご挨拶 & 協会会議等こよみ

11　新年のご挨拶
　　協会会議等のこよみ

3．行政情報

12　平成 26 年度浄化槽関連予算概算要求の概要
14　平成 26 年度(新)浄化槽情報基盤強化推進事業費
16　愛知県内新設住宅着工統計
17　平成 24 年度末　浄化槽設置基数一覧表
18　平成 24 年度　浄化槽新設基数一覧表

4．協会だより

19　「製造販売部会・施工部会等合同研修会」開催
20　「三重県紀宝町営浄化槽整備推進事業視察研修会」開催
21　「浄化槽技術研修会」開催

新春のご挨拶

一般社団法人　愛知県浄化槽協会
会長　加藤　鋭吉

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度の経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」による一体的な取組のもと、個人消費などの支出の増加が生産の増加につながりそれが雇用・所得の増加をもたらすという実体経済の好循環の動きが始まりつつあります。大企業においては、この流れに乗り好調に事業を展開する一方、中小企業にとっては、そのしわ寄せもあり事業展開が難しく、さらに本年４月からの消費税率の引き上げにより、景気の低調が懸念されるところであります。

当協会におきましては、昨年４月１日から一般社団法人愛知県浄化槽協会として新たにスタートし、合併処理浄化槽への転換促進や法定検査の受検率向上のため、新聞広告、テレビＣＭ、主要駅でのキャンペーンなど普及啓発に努めて参りました。

また、昨年度まで愛知県が設置した『浄化槽法定検査受検率向上タスクフォース』において、法定検査の受検率向上に向けた施策とその推進に係る事項の検討を進めて参りましたが本年度には『愛知県浄化槽維持管理向上連絡会議』が新たに設置され、今後はタスクフォースにより洗い出された課題や問題を解決し、具体的な対策を推進するとともに、浄化槽の維持管理全体の向上等を実現していくとしています。この事は何よりも、各関係機関が連携を深め、協働を進めるための会議の場が引き続き設置され、取組が進められることに大きな意義がございます。

平成２３年に環境省が実施した東日本大震災浄化槽被害状況緊急調査では、全損の可能性ありと判断した施設はわずかに3.8％である、と公表されており「災害に強い浄化槽」が再確認された結果となり、関係者としては大変誇りに思います。

今年は、これまで以上に関係者と連携を図りながら当協会一丸となって社会的責任と役割を果たし、浄化槽の普及促進や浄化槽の適正管理の推進など、各種の事業の一層の推進を通じまして、水環境の保全と公衆衛生の向上に注力してまいる所存であります。

関係各位におかれましても倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
新年に当たり皆様方のますますのご繁栄と、ご健勝を心から祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

平成二十六年元旦

新春を迎えて

愛知県知事
大村　秀章

あけましておめでとうございます。
県民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で、日本一の産業県・愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしっかりと進めてまいります。

このため、産業空洞化対策減税基金による日本一の補助制度を活用した企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙や次世代自動車を始めとした次世代産業の育成・振興、民間の力を引き出す規制改革の実現など、産業力の革新的強化に全力で取り組んでまいります。
また、元気な愛知の基盤となる人づくりとして、愛知の産業を支えるモノづくり人材の育成、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成などに取り組んでまいります。

さらに、利便性の高い交通体系の形成や、農業の高付加価値化、観光魅力のＰＲ強化などにより、愛知の総合力を一段と高めてまいります。そして、女性の活躍推進・子育て支援や、障害者・高齢者福祉を始めとした福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策の強化はもとより、学術、スポーツ、文化、芸術面の魅力向上に取り組み、住みやすく、住んでいて楽しい地域づくりにも力を注いでまいります。

また今年秋には、「ＥＳＤに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。地域が一丸となって成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成26年元旦

世界のナゴヤ 本物ナゴヤ ぬくとい市民

名古屋市長
河村　たかし

あけましておめでとうございます。一般社団法人愛知県浄化槽協会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年４月の市長選において、私は「世界のナゴヤ・本物ナゴヤ・ぬくとい市民」を掲げました。税金を払うほうが苦労し、税金で食っているほうが楽をする社会ではいけない。庶民革命を実現したいというのが、従業員数名の家業経営の苦労を体験してきた私の原点です。今後もパブリックサーバントであるという覚悟を忘れることなく、福祉に教育に“あったきゃあ”市民を目指して市政を進めてまいりたいと考えています。

さて、名古屋市では、多様化・複雑化する市政の課題に的確に対応し、市民ニーズに応えていくため、長期的展望に立ったまちづくりを明確化する次期総合計画を今年策定するべく作業を進めています。２０２７年開通予定のリニア中央新幹線は、２０１４年度中の着工が予定されるなど、いよいよ現実味が増してきています。東京へ人口や資本が吸い取られるストロー現象が懸念されますが、逆に東西から吸い取るほどに、魅力と活気にあふれる「世界のナゴヤ」となるには、人々から“おもしろい”と言ってもらえるまちでなければならないと考えています。

名古屋には、本物の草薙剣を有し、１９００年の歴史を持つ熱田神宮や、古墳時代の縮図と言われるほど古墳が密集する守山区上志段味地区など、数多くの歴史的・文化的資産があります。また近代、産業に支えられ発展した名古屋ですが、そのルーツは、江戸時代に尾張藩が大切にした木曽ヒノキとその加工技術にあり、ものづくり分野でも厚みのある歴史があります。これらの魅力に磨きをかけ、本物性を追求して、日本を牽引する“どえらけにゃあおもしろい”まちを目指してまいります。

世界と戦える強さと、身近であたたかい民主主義を兼備した、歴史に残るまち名古屋に向けて、全力で取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成２６年元旦

新年のごあいさつ

豊田市長
太田　稔彦

さわやかな平成２６年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

本年は、市町村合併により新・豊田市が誕生してから、ちょうど１０年目にあたります。この間、活発な産業に支えられた都市と豊かな自然に育まれた中山間地が共存する広大な市域を舞台に、力強く活動する市民の皆様と共に、共働によるまちづくりを推進してまいりました。

１０年目の節目を契機に、多くの市民の皆様の参画を得ながら、都市内分権の仕組みである「地域自治システム」を始めとして、本市が注力してきたまちづくりの取組について丁寧に振り返り、そして将来を展望してまいりたいと考えています。

さて、本市は、「人が輝き　環境にやさしく　躍進するまち・とよた」を将来都市像に掲げ、“暮らし満足都市”の創造、“環境先進都市”の加速、“ものづくりの中枢都市”の進化、そして“安全・安心都市”の実現をまちづくりの重点に置き、将来を見据え、本市の強みを戦略的に伸ばす取組を行ってきております。

とりわけ、地球規模の課題となっております低炭素型社会の実現に向けた本市の先進的なスマートシティの取組は、国内外から高い評価をいただいております。これを、市内産業への展開はもとより、家庭や移動などの市民の皆様の暮らしの中に取り入れ、生活の快適性や利便性の向上と、環境への取組自体が楽しさを感じるものへと繋げてまいります。

今後とも、本市が誇る市民力・地域力・企業力を活かすとともに、行政力の向上に努め、将来に備える重点的な戦略に取り組みながら、課題や環境の変化に迅速に対応できるスピード感を持ったまちづくりに一層取り組んでまいります。

おわりに、愛知県浄化槽協会の皆様には、市政に対し引き続きご支援、ご協力を賜りますとともに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

愛知県建設部
建築担当局長　松井 宏夫

あけましておめでとうございます

愛知県浄化槽協会におかれましては、長年にわたり、浄化槽の適正な施工や技術の向上などに努められ、県民の皆様の生活環境の向上に大きく貢献されてこられました。また、本県の建築・住宅行政の推進にあたりましても格別のご支援・ご協力を賜っております。深く敬意を表するとともに、厚くお礼を申し上げます。

さて、近年のエネルギー環境の変化や地球温暖化の進行に対応して、住宅・建築物においても、省エネルギーや環境対策に係る総合的な取り組みが求められております。

愛知県では、建築物の環境への負荷の低減と地域特性を活かした新たな環境創出を促すため、地域材の活用や地域緑化への寄与など、愛知県独自の評価基準により、建築物の環境性能を総合的に評価する「愛知県建築物総合環境性能評価システム」（CASBEE あいち）を開発し、これを活用した「愛知県建築物環境配慮制度」を平成 21 年 10 月から運用し、環境に配慮した建築物の整備の促進に努めております。

さらに、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた長期優良住宅や都市の低炭素化の促進を図るため省エネルギー性等の基準を満たす低炭素建築物の認定制度により、住宅の質・性能を確保し、豊かで環境に優しい暮らしの実現を図っております。

愛知県は日本一の産業県でありますが、産業経済の中心だからこそ環境面でもトップランナーでいなければならないと思っております。その実現に向けて、専門的なノウハウや技術をお持ちである皆様方のお力が必要でございますので、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に貴協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げまして、わたくしからの新年のご挨拶といたします。

新年の御挨拶

愛知県環境部長
杉浦　健二

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本県の環境行政の推進に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、平成17年、史上初めてとなる環境をテーマとした国際博覧会「2005年日本国際博覧会（愛知万博）」が開催され、また、平成22年には「生物多様性条約第10回締約国会議（ＣＯＰ10）」が開催されるなど、「環境首都あいち」づくりに向けての国際的な成果を積み重ねてきたところであり、その間、県民の方々の環境に対する関心・意識は着実に高まってまいりました。

そして、本年11月には、愛知・名古屋において「持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）に関するユネスコ世界会議」が開催され、2005年から続いた「国連ＥＳＤの10年」の最終年を締めくくる重要な世界会議として、数千人規模の人たちが集まって、各国の取組や今後の方策が議論されることとなっております。

ＥＳＤ（Education for Sustainable Development）とは、かけがえのない地球を未来へつなげる人づくりへの取組であります。そして、持続可能な社会の実現に向けては、豊かな生命を育み、現代社会を支える水環境の保全への取組がこれまで以上に重要なものとなってまいります。

愛知県といたしましても、様々な施策を通して公共用水域の水質保全や地域の健全な水循環の再生に取り組んでいるところでございますが、下水道と同等の水質浄化の機能を持つ浄化槽の果たす役割は極めて大きく、貴協会及び会員の皆様方には、浄化槽の整備推進とその機能を発揮させるための適正な維持管理に向けて御尽力をいただいており、重ねて感謝を申し上げる次第でございます。

年頭に当たり、本県の水環境行政の推進に、今後とも一層の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げるとともに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十六年元旦

新年のご挨拶

愛知県衛生事業協同組合
理事長　永田　喜裕

一般社団法人 愛知県浄化槽協会の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、平素より当組合の事業推進に格別のご協力とご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復旧・復興が3年目を迎え一部で今なお急がれている中、アベノミクスの展開、ねじれ国会の解消、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、消費税増税の決定など様々な出来事がございました。

私どもといたしましても、被災地の一日も早い復興を祈念するとともに、長く続いた景気の低迷、仕事量の減少、さらに自治体の財政難が一刻も早く解消されることを期待しつつ、今年こそ経済が安定し、災害の少ない穏やかな年であってほしいと切に願っているところでございます。

ご承知のとおり、浄化槽は、高度な水処理能力を持ち、設置費用が安く、地形の影響を受けずにどこでも短期間で設置が可能であるほか、地震に強く、被災しても早期の復旧が可能であることなどの優れた特徴を有しております。こうしたことから、今後ますます浄化槽の果たす役割は大きくなり、法定検査、保守点検、清掃の重要性も高まるものと考えております。

昨年、第50回通常総会という節目を迎え、新たな第一歩を踏み出した当組合といたしましても、貴協会を始め、関係行政機関、関係団体、地域住民のご理解とご協力をいただきながら、より一層、一般廃棄物の適正処理等に努め、地域住民が安心して清潔かつ快適な生活を営むことができるよう、組合員一丸となって日々邁進していく所存でございます。

最後に、貴協会のますますのご発展と、会員各位のご健勝を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成26年　元旦

新年のごあいさつ

愛知県浄化槽保全協会
理事長　栗田　道秋

あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、一般社団法人愛知県浄化槽協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃は、当協会事業に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、安部政権が発足し、打ち出した「アベノミックス」といわれる大胆な金融緩和や機動的な財政出動等により円安・株高が進み、景気の動向は、私共に明るい兆しをみせています。

しかし、東日本大震災における被災地再建や福島第一原発の事故処理は、未だ、道半ばでありますし、26年度から始まる消費税の増税も、景気の中折れが懸念されているところであります。

そんな中にあって、56年ぶりとなる「東京オリンピック」招致の成功は、私共に明るい希望と強い勇気、大きな感動を与えてくれました。

我が国経済の改善は、デフレからの脱却にあるとも言われています。本年こそ、明るい展望が確固たるものとなるよう念じてやまないものであります。

東日本大震災は、その復興なくして、日本の復興なしといわれるように、一刻も早い復興が、切に望まれるところであり、私共も、業界あげて積極的な支援・協力を行っていく所存であります。

ところで、伊勢湾・三河湾の水質汚濁は、とりわけ、生活排水による汚濁の割合が大きいといわれています。

幸い、私共は、この生活排水に関わる「浄化槽保守点検」という浄化槽の維持管理業務の一端を担っていますことから、技術の研鑽に努め、適正な保守点検業務を行うことにより、健全な水環境・水循環の保全・再生に寄与して参りたいと存じます。

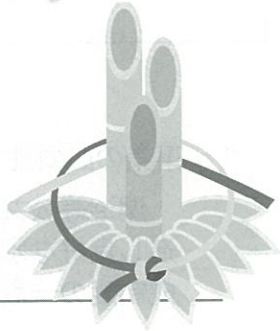
このため、保守点検に係る新技術や効率的・効果的な技術の研修、さらには、安価で良質な物品の提供等に力を入れ、関係行政機関、関係団体、諸先生方のご指導やご支援を頂きながら、更なる協会の発展に努めて参りたいと存じます。

今後とも、関係各位の倍旧のご支援をお願いするとともに、貴協会の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成26年　元旦

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

平成二十六年　元旦



一般社団法人 愛知浄化槽協会

会　長	加藤鋭吉	理事	浅野政司	理事	玉越唯郎
副会長	東　良男	理事	青山公美		
副会長	葛上　篤	理事	黒川章夫	監事	末森俊夫
副会長	関谷俊征	理事	永野卓司	監事	小川茂夫
理　事	湯浅弘一	理事	杉本由夫		
理　事	中島敏仁	理事	木村雄三		
理　事	高橋　薫	理事	内田守彦	協会	職員一同

●協会会議等のこよみ

平成25年１１月・・・・・・・・・・・・・

7～８日　浄化槽法指定検査機関東海北陸ブロック協議会研修会
12日　製造販売部会・施工部会等合同研修会
14日　三重県紀宝町営浄化槽整備推進事業視察研修会
11～23日　浄化槽管理士講習
21日　11月理事会
・協会創立40周年記念事業について
・使用管理部会の部会長、副部会長の選任について
・平成25年度浄化槽強調月間の取組結果について
・浄化槽の設置基数及び法定検査実施件数等について
28～29日　浄化槽指定検査機関関東甲信越ブロック協議会研修会・理事交流会

１２月・・・・・・・・・・・・・

３日　浄化槽技術研修会
９日　第２回総務財政企画委員会
10日　第１回浄化槽指定検査機関打ち合わせ会
18日　第３回使用管理部会
18日　12月理事会
・平成25年度中間決算報告書(案)について
・部会･委員会の研修活動報告について

平成 26 年度浄化槽関連予算概算要求 84.2 億円

循環型社会形成推進交付金（公共）（浄化槽分）
8，421百万円（8，421百万円）

廃棄物・リサイクル対策部　廃棄物対策課浄化槽推進室

1．事業の必要性・概要

湖沼等公共用水域等の水質汚濁の大きな原因となっている生活排水対策を推進し良好な水環境や健全な水循環を確保するため、浄化槽整備に対する国の助成制度の一層の充実・強化を図る。

○改正内容

（1）単独処理浄化槽合併転換促進支援事業の創設

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する際に、浄化槽接続のための配管の布設替えの費用は、設置者にとって大きな負担となっている。

このため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する場合に限り（浄化槽整備区域内の特定の区域において３０％以上の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換する計画であることを要件 ）、従来の国庫助成制度に配管費の一部助成のメニューを追加し、合併処理浄化槽への転換を促進することにより、汚水処理施設の早期整備を推進する。

（2）低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の延長

平成２２年度から２５年度にかけて実施してきた低炭素社会型浄化槽整備推進事業について、日本における温室効果ガスの削減目標達成のための浄化槽分野におけるCO_2削減対策の促進を図るため、制度を延長する。

2．事業計画（業務内容）

市町村が実施する浄化槽の整備に関する事業の実施に要する費用の一部を国庫助成。

助成率：１／３（一部事業１／２）、助成先：市町村等

3．施策の効果

浄化槽の整備を推進することにより、湖沼等公共用水域等における生活排水対策が進み、良好な水環境や健全な水循環が確保できる。

4．その他

上記の循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備以外に、他府省に別途計上された以下の国庫交付金により浄化槽の整備を推進。

○内閣府計上　地域再生基盤強化交付金（汚水処理施設整備交付金）
○復興庁計上　東日本大震災復興交付金（低炭素社会対応型浄化槽集中導入等事業）

単独処理浄化槽合併転換促進支援事業

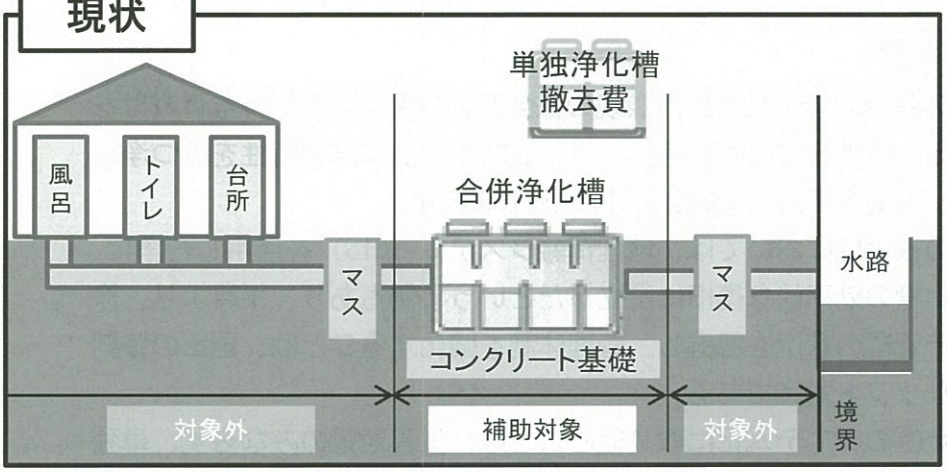
（公共）～配管費の一部助成～

平成26年度要求額：8,421百万円の一部
（平成25年度予算額：－）
支出先：市町村

背景

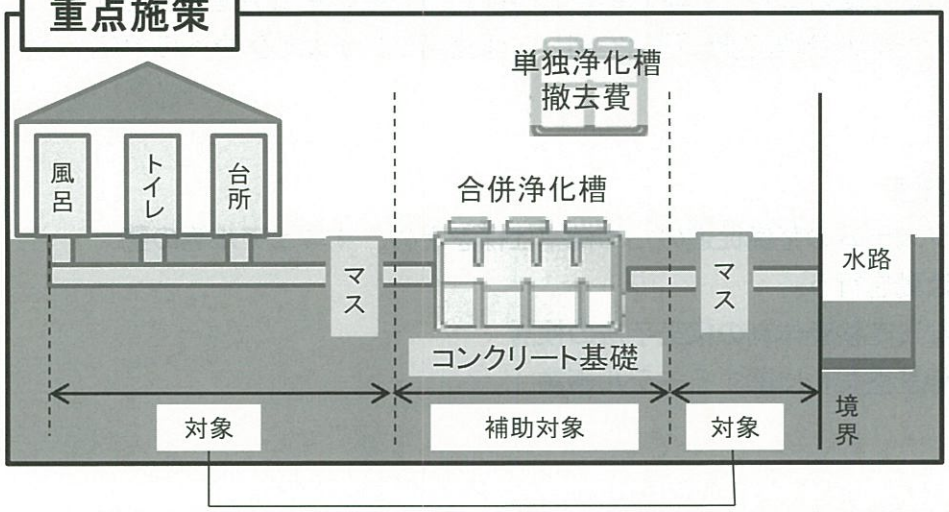
くみ取り式トイレと違い、単独処理浄化槽は合併処理浄化槽と同様水洗式であり、転換へのインセンティブが働かず、公費助成の対象とならない配管費の個人負担は合併転換の障害となっている。

現状



従来の国庫助成制度に、配管費の一部助成のメニューを追加し、個人の費用負担を軽減。

重点施策



※上限9万円の1／3、特定区域内の整備率30％以上の計画であることを要件。

目標

さらなる合併処理浄化槽への転換を図る

平成26年度

浄化槽情報基盤強化推進事業費要求16百万円

（新）浄化槽情報基盤強化推進事業	１６百万円（ 0百万円）

廃棄物・リサイクル対策部　廃棄物対策課浄化槽推進室

１．事業の必要性・概要

汚水処理施設の長期間の停止は生活環境の保全及び公衆衛生上避けなければならない事象である。個別分散型の生活排水処理施設で地震に強い特性を持つ浄化槽の整備促進や、早期復旧方法の確立は重要な課題である。

東日本大震災の被災地においては、地理情報システム（GIS）を活用した浄化槽台帳が被災浄化槽の効率的な復旧に役立ったという事例もあり、平時より、浄化槽の設置や維持管理の状況を把握し、管理体制を強化することは、国土の強靭化に資する重要なソフト対策である。

また、浄化槽台帳のシステム化に取り組むことは、災害対策のみならず、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や法定検査の受検率の向上など浄化槽の信頼性を高める取組の基礎となるものである。このため、本事業では、GIS化を念頭に置いた浄化槽台帳システムの整備を促進し、併せてより効果的な法定検査体制の構築に取り組むことで、単独転換を含めた浄化槽の普及促進や適切な維持管理の確保のための管理基盤の強化を図り、浄化槽システムの災害への対応力を強化する。

２．事業計画（業務内容）

①浄化槽台帳システムの整備促進のため標準仕様を定め、マニュアル等の整備及び周知活動を行う。

②より効果的な法定検査体制の構築手法の検討

③浄化槽の情報基盤強化に関するモデル事業

３．施策の効果

全国における浄化槽台帳のシステム化の推進等、浄化槽の管理基盤の強化を図ることにより、災害への対応を強化し、下水道や集落排水事業とも連携し、汚水処理全体での更なる強靭化及び信頼性の向上を目指す。

浄化槽情報基盤強化推進事業費

～個別分散型処理として災害に強い合併処理浄化槽の台帳システムの整備による早期復旧～

平成26年度要求額：16百万円 （平成25年度予算額：0百万円） 支出予定先：民間団体等

災害に強い合併処理浄化槽

○個別分散型処理で災害に強い特性を持つ**合併処理浄化槽**

※東日本大震災の調査で全損は**3.8%** 【震度6弱以上又は津波被害地域の1099基を対象】

浄化槽台帳システムの整備（ソフト対策）

（**非常時**）GISを活用した台帳システムの利用により、

○被害状況を整理し、早期復旧に役立たせる

【仙台市における浄化槽台帳の災害時活用事例】

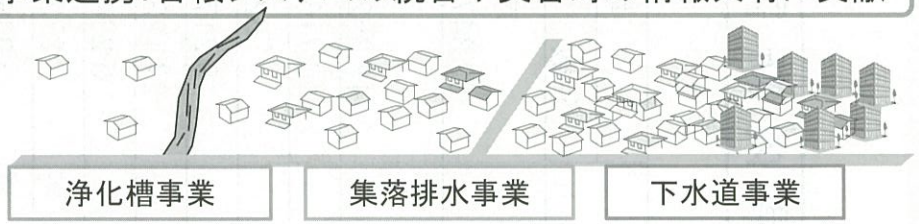
○使用可能なトイレを地図上で表示し、情報提供を行う

（**平常時**）浄化槽の設置状況等を把握し、

○単独処理浄化槽の転換促進対策への活用

○法定検査の未受検者対策に活用

事業連携：台帳システムの統合や災害時の情報共有に貢献

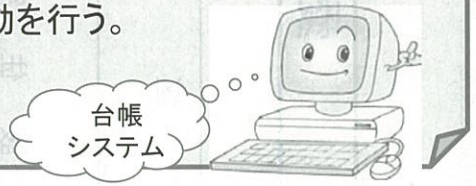


＜浄化槽情報基盤強化推進事業費＞

① 浄化槽台帳システムの整備促進のため標準仕様を定め、マニュアル等の整備及び周知活動を行う。

② より効果的な法定検査体制の構築手法の検討

③ 浄化槽の情報基盤強化に関するモデル事業



汚水処理システム全体での災害対応の強化

愛知県内新設住宅着工統計

区分			平成25年4～9月分 戸数	前年同期増減(△)比	構成比	平成24年4～9月分 戸数
			戸	%	%	戸
新設住宅計			32,347	19.6	－	27,045
利用関係別	持家		12,352	11.6	38.2	11,073
	貸家		10,716	23.8	33.1	8,658
	給与住宅		62	△ 62.9	0.2	167
	分譲住宅		9,217	29.0	28.5	7,147
資金別	民間資金		27,123	20.0	83.9	22,606
	公的資金		5,224	17.7	16.1	4,439
		公営住宅	272	377.2	0.8	57
		機構融資	2,046	9.4	6.3	1,870
		都市機構	114	－	0.4	0
		その他	2,792	11.1	8.6	2,512
建て方別	合計	一戸建・長屋建	21,459	8.6	66.3	19,757
		共同建	10,888	49.4	33.7	7,288
	貸家	一戸建・長屋建	3,297	△ 18.5	10.2	4,044
		共同建	7,419	60.8	22.9	4,614
	分譲住宅	一戸建・長屋建	5,788	25.2	17.9	4,622
		共同建	3,429	35.8	10.6	2,525
構造別	木造		18,729	14.5	57.9	16,361
	非木造		13,618	27.5	42.1	10,684
		鉄骨・鉄筋コンクリート造	125	△ 37.2	0.4	199
		鉄筋コンクリート造	7,159	49.9	22.1	4,776
		鉄骨造	6,283	10.4	19.4	5,692
		コンクリートブロック造	3	－	0.0	0
		その他	48	182.4	0.1	17
プレハブ住宅			5,980	8.4	18.5	5,515

平成24年度末　浄化槽設置基数一覧表

（平成25年3月末現在）

所管	市町村	単独	合併	計
東三河	豊川市	10,627	5,369	15,996
	蒲郡市	2,133	1,678	3,811
	田原市	3,833	912	4,745
	計	16,593	7,959	24,552
新城設楽	新城市	5,369	3,432	8,801
	設楽町	758	465	1,223
	東栄町	268	228	496
	豊根村	157	314	471
	計	6,552	4,439	10,991
尾張	一宮市	33,316	15,749	49,065
	瀬戸市	15,391	4,688	20,079
	春日井市	21,457	9,104	30,561
	犬山市	5,027	2,056	7,083
	江南市	11,382	6,495	17,877
	小牧市	11,305	3,436	14,741
	稲沢市	14,983	6,528	21,511
	尾張旭市	8,836	2,548	11,384
	岩倉市	4,287	1,482	5,769
	豊明市	1,974	949	2,923
	日進市	3,410	2,795	6,205
	清須市	9,117	5,480	14,597
	北名古屋市	10,381	6,006	16,387
	長久手市	2,733	787	3,520
	東郷町	3,319	962	4,281
	豊山町	1,825	1,005	2,830
	大口町	1,576	626	2,202
	扶桑町	3,764	2,398	6,162
	計	164,083	73,094	237,177
海部	津島市	9,186	3,996	13,182
	愛西市	7,576	3,717	11,293
	弥富市	6,513	2,906	9,419
	あま市	14,250	6,447	20,697
	大治町	4,244	2,276	6,520
	蟹江町	3,636	1,968	5,604
	飛島村	618	352	970
	計	46,023	21,662	67,685

所管	市町村	単独	合併	計
知多	半田市	13,813	1,984	15,797
	常滑市	8,316	2,495	10,811
	東海市	6,389	3,168	9,557
	大府市	3,374	1,708	5,082
	知多市	2,103	376	2,479
	阿久比町	2,594	728	3,322
	東浦町	4,037	1,683	5,720
	南知多町	3,049	956	4,005
	美浜町	4,787	1,617	6,404
	武豊町	3,879	1,208	5,087
	計	52,341	15,923	68,264
西三河	碧南市	7,697	2,404	10,101
	刈谷市	11,568	2,851	14,419
	安城市	9,980	5,315	15,295
	西尾市	16,248	5,538	21,786
	知立市	6,999	3,104	10,103
	高浜市	4,980	2,076	7,056
	幸田町	1,180	419	1,599
	計	58,652	21,707	80,359
豊田加茂	みよし市	1,082	285	1,367
	計	1,082	285	1,367
愛知県所管分	合計	345,326	145,069	490,395

保健所設置市	名古屋市	6,525	1,863	8,388
	豊橋市	18,311	10,901	29,212
	岡崎市	11,835	6,606	18,441
	豊田市	24,845	17,640	42,485
	計	61,516	37,010	98,526

県内総合計	**406,842**	**182,079**	**588,921**
	(69.1%)	**(30.9%)**	

平成24年度 浄化槽新設基数一覧表

（平成25年3月末現在）

所管	市町村名	設置基数
東三河	豊川市	267
	蒲郡市	131
	田原市	27
	計	425
新城設楽	新城市	109
	設楽町	19
	東栄町	6
	豊根村	6
	計	140
尾張	一宮市	781
	瀬戸市	262
	春日井市	496
	犬山市	89
	江南市	389
	小牧市	162
	稲沢市	416
	尾張旭市	210
	岩倉市	120
	豊明市	49
	日進市	192
	清須市	374
	北名古屋市	317
	長久手市	36
	東郷町	46
	豊山町	81
	大口町	22
	扶桑町	120
	計	4,162
海部	津島市	212
	愛西市	181
	弥富市	144
	あま市	369
	大治町	236
	蟹江町	82
	飛島村	18
	計	1,242

所管	市町村名	設置基数
知多	半田市	32
	常滑市	64
	東海市	275
	大府市	68
	知多市	23
	阿久比町	29
	東浦町	22
	南知多町	44
	美浜町	59
	武豊町	31
	計	647
西三河	碧南市	67
	刈谷市	58
	安城市	190
	西尾市	158
	知立市	147
	高浜市	68
	幸田町	6
	計	694
豊田加茂	みよし市	15
	計	15
愛知県所管	合計	7,325

保健所設置市	名古屋市	74
	豊橋市	468
	岡崎市	195
	豊田市	617
	計	1,354

県内総合計	8,679	(9,255)

＊（）内は平成23年度の値

「製造販売部会・施工部会等合同研修会」開催

「製造販売部会・施工部会等合同研修会」を 11 月 12 日(火)に開催しました。当日は 14 名の参加で、衣浦東部浄化センターでは、同センター職員から施設の概要、特徴などの説明を受けました。

特に、浄化センターの下水汚泥が、隣接の碧南火力発電所で燃料として活用されていることに、みなさん驚きの表情を見せていました。

次回の同研修会には、ぜひたくさんのご参加をお願いします。

■浄化センター概要

・名称：衣浦東部浄化センター

・処理能力：日最大　74,900 ㎥

・処理方法：凝集剤添加硝化脱窒法

・汚泥：濃縮→(硝化)→脱水→炭化→搬出

■下水汚泥燃料化施設概要（愛知県衣浦東部浄化センター)

本事業は、同センターにおいて下水汚泥を下水汚泥燃料化施設にて炭化処理し、下水汚泥炭化燃料(炭化物)を製造後、全量を隣接の中部電力碧南火力発電所で石炭と混焼利用するもの。

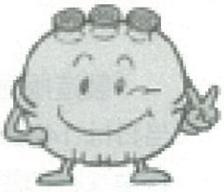
・汚泥処理能力：100 t /日×1 系列

・汚泥処理量：33,000 t /年（約 100 t /日）

・下水汚泥炭化燃料(炭化物)製造量：約 2,700 t /年(約８ t /日)

施設見学の様子

「三重県紀宝町営浄化槽整備推進事業視察研修会」開催



市町村整備推進事業委員会は、愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会と合同で11月14日(木)に三重県紀宝町に視察研修を行いました。この町はPFI手法を導入した市町村設置型による浄化槽整備を行っている先進的な町です。

当日は愛知県及び市町村職員等１８名の参加で、紀宝町の職員から説明を受け、質疑応答を行い、終了しました。

愛知県では市町村設置型による浄化槽整備が未だありません。

ぜひ、これを機会に事業を進めていただくことを期待しています。

ご参加の皆様

「浄化槽技術研修会」開催

１２月３日(火)に、愛知県産業労働センター(ウィンクあいち）において、浄化槽技術研修会を開催しました。

当日は、浄化槽関係者、行政職員など７７名の方にご参加いただき、皆様からは大変参考になったとご好評いただきました。

◆講演内容及び講師

（１）東日本大震災における浄化槽の被害状況について

～平成 23 年度　東日本大震災浄化槽被害状況解説調査より～

東日本大震災による浄化槽被害の特徴及びこの経験から得られた今後の課題等について解説をいただきました。

■講師　公益財団法人日本環境整備教育センター
調査・研究グループリーダー　仁木　圭三　氏

（２）これからの浄化槽行政について

《カリキュラムより》　・浄化槽の設置の状況　・浄化槽に対する県民意識から
・浄化槽行政における課題　・これからの日本の家族像等　・これからの浄化槽行政
・次の世代に良い水環境を残すために

■講師　愛知県環境部水地盤環境課　主幹　橋本　博巳　氏

（３）新型浄化槽の構造と管理について

新型浄化槽の構造と機能に関する理解を深めるとともに、その知識に基づいた適正な維持管理に資する技術の習得を目的として、新型浄化槽の構造及びその維持管理などに対する考え方について解説をいただきました。

■講師　公益財団法人日本環境整備教育センター
調査・研究グループリーダー　仁木　圭三　氏

講師　仁木圭三 氏

講師　橋本博巳 氏

●発　行　一般社団法人 愛知県浄化槽協会

・事　務　局　〒453-0017　名古屋市中村区則武本通1-31
TEL〈052〉481-7200　FAX〈052〉481-7207

・法定検査部

名古屋業務所　〒453-0017　名古屋市中村区則武本通1-31
TEL〈052〉481-7160　FAX〈052〉481-7163

豊田業務所　〒471-0064　豊田市梅坪町9-5-10
TEL〈0565〉37-3360　FAX〈0565〉37-3361

春日井業務所　〒487-0024　春日井市大留町2-2-18
TEL〈0568〉53-3721　FAX〈0568〉53-3722

名古屋西業務所　〒452-0911　清須市西須ヶ口32-1
TEL〈052〉618-6351　FAX〈052〉618-6352